

## 2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月14日

上場会社名	SFPホールディングス株式会社	上場取引所	東
コード番号	3198	URL	<a href="https://www.sfpdining.jp">https://www.sfpdining.jp</a>
代表者(役職名)	代表取締役社長	(氏名)	佐藤 誠
問合せ先責任者(役職名)	常務取締役	(氏名)	木村 哲博 (TEL) 044(750)7154
配当支払開始予定日	—		
決算補足説明資料作成の有無	: 有		
決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年2月期第3四半期の連結業績 (2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年2月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	22,750	2.0	1,025	△24.8	1,117	△27.3	688	△33.5
	22,310	4.7	1,364	4.9	1,537	5.9	1,035	22.2

(注) 包括利益 2026年2月期第3四半期 666百万円(△36.5%) 2025年2月期第3四半期 1,050百万円(26.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年2月期第3四半期	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	30.20	—
	45.41	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年2月期第3四半期	百万円	百万円	%
2025年2月期	13,082	8,790	67.2
	13,963	8,732	62.5

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 8,790百万円 2025年2月期 8,732百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2026年2月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年2月期の連結業績予想 (2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
	32,500	6.9	2,500	14.3	2,600	14.0	1,700	14.5
								74.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
2026年2月期3Q 22,813,689株 2025年2月期 22,813,689株
- ② 期末自己株式数  
2026年2月期3Q 10,552株 2025年2月期 13,285株
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）  
2026年2月期3Q 22,802,262株 2025年2月期3Q 22,795,564株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(四半期連結損益計算書関係) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の増加などを背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、各国の金融・為替市場の動向、新政権による経済政策が経済・物価へ与える影響については不確定要素も多く、先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、インバウンド需要や価格改定による客単価上昇により、引き続き売上が昨年を上回って推移しておりますが、米をはじめとする原材料費の高騰や人件費の上昇などを受けて、採算面では依然として厳しい状況が続いております。当社が主に展開する居酒屋業態では、インバウンド需要の継続に加え、集客もおおむね堅調であり、売上が昨年を上回って推移いたしました。

このような状況の中で当社グループは、引き続き固定費の増加抑制に努めるとともに、食材価格の高騰を踏まえたメニュー改定や臨機応変な営業時間の見直し、人財採用の積極化など、収益性の改善に向けた取り組みを推し進めてまいりました。また、出店戦略においては、小型かつ低投資の大衆酒場業態の開発・出店を継続するとともに、地方都市での出店にも注力しております。

鳥良事業部門においては、当第3四半期連結会計期間末現在の店舗数は35店舗となり、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,948百万円（前年同期比1.5%増）となりました。なお、鳥良商店全27店舗において、メニュー構成や価格体系の見直し等、大衆化の強化を目的としたリニューアルを実施いたしました。

磯丸事業部門においては、「磯丸水産」を4店舗出店し、「磯丸水産」1店舗を「鳥平ちゃん」へ業態転換したほか、フランチャイズで「磯丸水産」を1店舗、「磯丸水産食堂」を2店舗出店いたしました。一方で、「磯丸水産」を直営及びフランチャイズで各1店舗退店し、当第3四半期連結会計期間末現在の店舗数は直営101店舗、フランチャイズ20店舗となり、当第3四半期連結累計期間の売上高は13,254百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

その他部門においては、「五の五」「鉄板ホルモン五の五」「町鮓とろたく」を各1店舗出店したほか、「鳥平ちゃん」1店舗を「磯丸水産」から業態転換し、当第3四半期連結会計期間末現在の店舗数は37店舗となり、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,848百万円（前年同期比13.5%増）となりました。

フードアライアンスマンバー（連結子会社）においては、株式会社クルークダイニングが「信州そだち」及び「からあげセンター」を各1店舗出店し、当第3四半期連結会計期間末現在の店舗数は株式会社ジョー・スマイルが12店舗、株式会社クルークダイニングが13店舗となり、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,698百万円（前年同期比13.0%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の総店舗数は、直営198店舗、フランチャイズ20店舗となり、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は22,750百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は1,025百万円（前年同期比24.8%減）、経常利益は1,117百万円（前年同期比27.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は688百万円（前年同期比33.5%減）となりました。

### (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ881百万円減少し、13,082百万円となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

#### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,099百万円減少し、5,661百万円となりました。これは主に、売掛金が242百万円増加した一方で、現金及び預金が1,471百万円減少したことによるものです。

#### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ217百万円増加し、7,420百万円となりました。これは主に、有形固定資産が203百万円、投資その他の資産が26百万円増加したことによるものです。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ956百万円減少し、3,142百万円となりました。これは主に、買掛金が130百万円増加した一方で、短期借入金が700百万円、未払法人税等が400百万円減少したことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ17百万円増加し、1,149百万円となりました。これは主に、退職給付に係る負債が10百万円、資産除去債務が10百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ57百万円増加し、8,790百万円となりました。これは主に、利益剰余金が73百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年4月14日に発表いたしました「2025年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載しております予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	5,277,369	3,805,851
売掛金	884,552	1,126,838
原材料及び貯蔵品	132,429	129,246
その他	466,572	599,494
<b>流動資産合計</b>	<b>6,760,924</b>	<b>5,661,430</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	7,770,924	8,210,740
減価償却累計額	△4,799,514	△5,042,905
建物及び構築物（純額）	2,971,410	3,167,834
土地	11,570	11,570
建設仮勘定	324	2,200
その他	1,840,158	1,896,552
減価償却累計額	△1,538,918	△1,589,848
その他（純額）	301,240	306,704
<b>有形固定資産合計</b>	<b>3,284,545</b>	<b>3,488,309</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	250,764	235,709
その他	17,712	20,763
<b>無形固定資産合計</b>	<b>268,477</b>	<b>256,472</b>
<b>投資その他の資産</b>		
敷金及び保証金	2,918,852	2,943,286
その他	730,914	732,521
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>3,649,767</b>	<b>3,675,808</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>7,202,790</b>	<b>7,420,590</b>
<b>資産合計</b>	<b>13,963,714</b>	<b>13,082,021</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	791,533	922,320
短期借入金	700,000	—
1年内返済予定の長期借入金	82,048	62,408
未払法人税等	420,671	19,833
賞与引当金	90,327	73,683
株主優待引当金	122,287	67,936
店舗閉鎖損失引当金	1,650	18,324
資産除去債務	14,036	19,688
その他	1,876,432	1,958,058
<b>流動負債合計</b>	<b>4,098,988</b>	<b>3,142,253</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	34,654	26,648
退職給付に係る負債	342,029	353,002
資産除去債務	677,311	687,607
その他	78,079	81,964
<b>固定負債合計</b>	<b>1,132,074</b>	<b>1,149,221</b>
<b>負債合計</b>	<b>5,231,062</b>	<b>4,291,475</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	49,340	49,340
資本剰余金	505,639	506,052
利益剰余金	8,174,640	8,247,724
自己株式	△26,219	△19,883
<b>株主資本合計</b>	<b>8,703,400</b>	<b>8,783,234</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
退職給付に係る調整累計額	29,250	7,312
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>29,250</b>	<b>7,312</b>
<b>純資産合計</b>	<b>8,732,651</b>	<b>8,790,546</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>13,963,714</b>	<b>13,082,021</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	22,310,253	22,750,328
売上原価	6,525,266	6,872,632
売上総利益	15,784,986	15,877,696
販売費及び一般管理費	14,420,955	14,851,992
営業利益	1,364,030	1,025,703
営業外収益		
受取賃貸料	3,150	3,150
協賛金収入	145,732	92,280
持分法による投資利益	3,213	2,613
その他	32,248	47,095
営業外収益合計	184,344	145,139
営業外費用		
支払利息	4,272	2,457
不動産賃貸原価	2,295	2,295
過年度消費税等	—	※ 18,749
租税公課	—	18,390
その他	4,094	11,289
営業外費用合計	10,661	53,182
経常利益	1,537,713	1,117,660
特別利益		
固定資産売却益	3,636	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	6,799	—
特別利益合計	10,436	—
特別損失		
固定資産除却損	2,607	961
減損損失	3,012	68,368
店舗閉鎖損失	—	1,686
店舗閉鎖損失引当金繰入額	4,172	18,324
特別損失合計	9,791	89,339
税金等調整前四半期純利益	1,538,357	1,028,320
法人税、住民税及び事業税	389,931	314,737
法人税等調整額	113,180	24,842
法人税等合計	503,111	339,580
四半期純利益	1,035,246	688,740
非支配株主に帰属する四半期純利益	109	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,035,137	688,740

## 四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益	1,035,246	688,740
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	14,835	△21,937
その他の包括利益合計	14,835	△21,937
四半期包括利益	1,050,082	666,802
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,049,973	666,802
非支配株主に係る四半期包括利益	109	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 過年度消費税等の内容は、見積税額と納付税額との差額です。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、以下のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	441,017千円	433,591千円
のれんの償却額	15,055千円	15,055千円